

2013年2月6日

石油連盟

会長 木村 康 様

北海道生活協同組合連合会	会長理事	麻田 信二
青森県生活協同組合連合会	会 長	井筒 智義
岩手県生活協同組合連合会	会長理事	加藤 善正
秋田県生活協同組合連合会	会長理事	大川 功
宮城県生活協同組合連合会	会長理事	齋藤 昭子
山形県生活協同組合連合会	会長理事	松本 政裕
福島県生活協同組合連合会	会 長	熊谷 純一

(公 印 略)

灯油の異常価格の是正と安定供給に関する要請書

貴職におかれましては益々ご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より生活協同組合の諸活動にご高配賜り、心より御礼申し上げます。

さて、北海道・東北地区に住む私たちにとって暖房は不可欠であり、「灯油」はその主力エネルギーとして欠かすことができない生活必需品です。灯油が適正な価格で安定的に供給されることが私たちの願いです。

しかし、今冬の灯油価格は、18㍻1缶で1,800円を超える価格水準となり、2008年の石油製品高騰時に次ぐ価格水準となっています。特に灯油の高騰は、2011年の冬シーズンより維持され、大震災や経済不況の影響を受けている被災地のくらしや地域経済を直撃しており、中小零細事業者や農林漁業者などにも大きな打撃を与えています。

しかも、原油価格の上昇に比べて灯油価格だけが極端に値上げされ、ガソリンに比べ高くなっています。需要期になると灯油だけが大幅に値上げされるのは、ガソリン供給の伸び悩みのつけを灯油にかぶせているのではないかと例年指摘してきましたが、今年の灯油独歩高は異常です。

さらに、現在の灯油の異常高騰は円安とともに、在庫不足も大きな原因と思われます。石油元売会社は、効率化を理由に灯油の国内在庫を年々減らし、昨年末は過去最低の227万キロリットルしかありませんでした。

2年前の東日本大震災の燃料不足や、その復旧に1ヶ月近くもかかったのは、効率化のため年々製油所やタンクローリーが減らされ、いざというときに対応できなかったことが原因だと考えられます。その轍を踏まないよう、昨冬は安定供給に万全の体制で臨むと石油業界や経産省から説明を受けました。それなのに、今冬の状況はどうでしょうか。1缶1800円以上もするような灯油は、被災地や北海道・東北の住民には手が出ません。容易に手が出せない、安心して使えない灯油なら、安定供給しているとはいえません。

さらに、給油所不足も深刻です。全国的に給油所は激減し、自然淘汰の範疇を超えると指摘もあります。一部の過疎地や被災地においては、灯油難民、ガソリン難民が現実のものとなりつつあります。東日本大震災のときのような状況を二度と起こさず、地方や被災地が取り残されることがないように、供給に関して、石油業界としても社会的な役割を発揮し、地域生活を支えていただきたいと思えます。

つきましては、石油業界が社会的な責任を果たされますよう、以下のことを要請します。

記

[要請項目]

1. 灯油価格の異常高騰を直ちに改め、適正価格にしてください。
消費者への価格決定についての説明責任・開示を指導してください。
特に、灯油価格独歩高の異常さについて説明を行い、灯油という「必需品」が他油種より高くされる状況を改めてください。
2. 在庫量の不足が起きないように、灯油在庫を十分確保し安定供給を実現してください。
寒波や不測の事態が起きても生協などに灯油が入らないことのないようにしてください。
3. 地域生活の維持や、災害時への対策の観点からも、給油所の適正配置についても、石油業界として配慮し、安定供給についての社会的な役割を担ってください。

以上